



菅原 隆文
(よねしろ会)

二ツ井での総合的な排水路計画の必要性

質 上水道整備が始まった中心地区は排水問題が未解決。入り組んだ河川や水路、未整備の側溝や排水路が豪雨時の水害の原因にもなっている。総合的な排水路計画が必要では。

答 二ツ井地区の排水路は土地改良区の利用排水路や市道の側溝などを利用しており、その形態はさまざまである。流れの悪い箇所は改良工事を行ってきたが、必ずしも一体的な整備とはなっていない。泥土上げ等の維持管理も高齢化により年々難しい状況にある。今後、現状調査を行い地区全体の排水路のあり方を検討したい。

高齢化社会の能代市の克雪対策

質 近年温暖化のため、雪の少ない沿岸地域もどか雪の危険がある。高齢化世帯の雪対策、安全安心な地域社会実現のために、除排雪の支援対策や排水路を活用した流雪溝の導入は。

答 現在、軽度生活援助事業での除雪等への活用を周知しているが、援助事業の拡充について財政的な課題も含め前向きに検討したい。また、二ツ井地域で流雪溝は5カ所に設置されている。今後は、自然水を使用する場合で維持管理を地区で行うなどの条件が整った際、流雪溝として活用できる側溝整備を検討したい。

その他の質問事項

- 荷上場地区での豪雨被害の検証
- 山本陽子氏の恋文朗読劇開催を
- 東インターのイオンにかわる道の駅構想



柳谷 渉
(市民連合)

議事堂を議事堂として活用すること

質 今の議事堂にある程度改修費をかけてでも議事堂として使うべき。議事は本庁のそばにないと有事の際に支障を来す。議事堂活用は経費抑制を望む市民にこたえる道でもある。

答 議事は庁舎の中、あるいは隣接していることが一般的だと考えられるが、可能性を探るため、さまざまな選択肢を検討してきた。経済性の面では二ツ井町庁舎の議場を使う方が優位と見込まれるが、それぞれ別の選択肢に係るメリット、デメリットの評価、判断について市議会の意見も参考にして方針を決定したい。

中学校の武道必修化完全実施

質 来年度から能代市の各中学校では柔道を教えるようだが、指導教員のうち柔道経験者は何名いるか。経験のない人が生徒を指導できるか。危険はないか。事故は起こしてはならない。

答 市内11名の体育担当教員は教員免許取得の際、柔道・剣道の授業を履修しており、さらに県の武道指導講習会等に参加し指導技術を高めている。危険性については教育委員会としても認識しており、各校に受け身や基本動作の徹底指導等を促すとともに体育担当教員の研修会を行い指導力向上と安全指導等を徹底したい。

その他の質問事項

- 文化財の保護や保存に対する市の考え方は
- 中学校の武道必修化のねらいは



小林 秀彦
(日本共産党)

独自の放射線測定器の購入

質 原発事故が収束しない状況の中で、市民は一層不安を募らせている。農産物の測定や県外からの物資の測定などで、不安を解消するためにも市独自の放射線測定器を。

答 県内の農産物については、これまでも県及びJA等が放射性物質の検査を実施しているが、すべてについて不検出で、これからも出荷時期に合わせて検査を行うこととしており、この取り組みで農産物の安心・安全は確保されるものと考えていることから、現段階では機器の購入は考えていない。

市庁舎整備

質 市議会議事堂は耐震補強し、引き続き活用すべきでは。国登録有形文化財の保存にもつながる。二ツ井町庁舎使用の場合、本庁舎と議場が離れることへの弊害があるかどうか。

答 庁舎整備に当たり、財政負担を極力軽減するために努力、工夫することは、市民意向である前に、行政として必要なことであり、議場の扱いについてもさまざまな選択肢について検討してきたが、それぞれの選択肢に係るメリット、デメリットの評価、判断について市議会の意見も参考にして方針を決定したい。

その他の質問事項

- 大地震による津波対策
- 瓦れき等の受け入れ
- 能代北部の風力発電計画